



GSユアサ バッテリー

ECO.R HV (エコ.アール ハイブリッド) シリーズ

※トヨタ系ハイブリッド乗用車専用補機用バッテリー

バッテリー取扱説明書 補償書付

このたびは、「GSユアサバッテリー」をご購入いただき、誠にありがとうございます。

バッテリーを正しくお取り扱いいただくため、バッテリーをご使用になる前や、点検の前に、本取扱説明書やバッテリー本体の注意表示をよくお読みください。誤った取り扱いをすると、引火爆発、焼損、破損、液漏れ、車両損傷、失明ややけど、けがなどの原因となります。

また、本取扱説明書はお読みいただいた後もお手元に大切に保管してください。

尚、ご不明な点はご購入店または弊社にご相談ください。



説明書熟読

目次	1.ご注意.....②③④	5.バッテリーがあがったときには.....⑧
	2.ご使用の前に.....④⑤	6.要項表.....⑨
	3.バッテリーの交換方法.....⑤⑥	7.補償書
	4.バッテリーの保守・点検方法.....⑦⑧	

『リサイクルの推進にご協力をお願いいたします』

ご不要になった使用済みバッテリーは放置したり、一般ゴミと一緒に捨てたりしないでください。新しいバッテリーをご購入の販売店に引き取りをご依頼ください。



EHJ-3A

G0224-0
AK7EHJ

1.ご注意 (必ずお守りください)

- 表示内容を見逃して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。
	警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。
	注意	人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です)

	禁止の行為を告げる絵表示です。
	「注意喚起」を促す内容があることを告げる絵表示です。
	行為を強制したり、指示したりする内容を告げる絵表示です。

危険

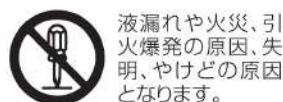
■説明書熟読 説明書熟読 誤った取り扱いを すると、車両損傷、 失明ややけどの原 因となります。	■決められた用途以外 に使用しない <補償対象外> 液漏れや焼損、引火爆発、有 毒ガスである硫化水素の発 生、中毒の原因となります。 (本バッテリーの用途の詳細は P4「2-1」バッテリーの用途」を参照ください。)	■破裂、爆発注意 正しいご使用方法、 取り扱いメンテナ ンスなど取扱説明書 をよくお読みになっ てご使用ください。 破裂、爆発注意
■バッテリー液が口に入るか、 飲み込んだ時の処置 直ちに多量の水でう がいを繰り返し、多 量の飲料水を飲み、 速やかに医師の治 療を受けてください。	■取り扱い時は保護メガネ、 ゴム手袋を着用 メガネ着用 バッテリー液によ り失明ややけどの 原因となります。	■バッテリー液 (希硫酸) 取り扱いに注意 失明ややけど、機 器腐食などの原因 となります。 硫酸注意
■火気を近づけない 火気禁止 バッテリーから水 素ガスが発生する ので引火爆発の原 因となります。	■こども禁止 こども禁止 こどもや取り扱い 方法、危険を十分 理解しないものに 触れさせないでく ださい。	■目にバッテリー液が 入った時の処置 直ちに多量の水で 洗眼し、速やかに 眼科医の治療を受 けてください。

⚠ 危険

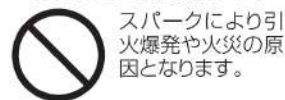
■ブースターケーブルの使用は正しく行う



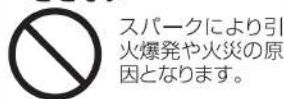
■バッテリー、バッテリー端子の分解、改造禁止



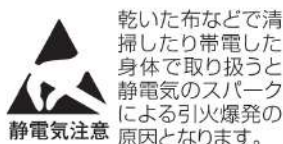
■ケーブルターミナルやバッテリー端子が腐食したままで使用しない



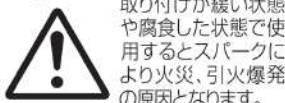
■金属工具などで⊕端子と⊖端子を接触（ショート）させない



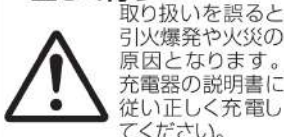
■静電気に注意



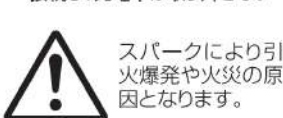
■ケーブルターミナルや取付金具は確実に固定する



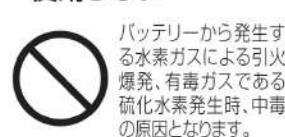
■充電器の使用は正しく行う



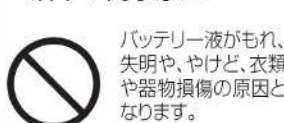
■充電器の接続ケーブルは正しく接続し、充電中は取り外さない



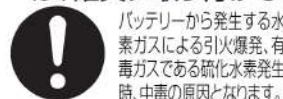
■密閉された場所で使用しない



■さかさま・横倒し・傾け、落下や衝撃禁止

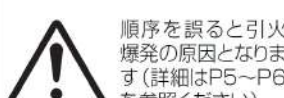


■ガス抜き用ホースが接続されている場合は、確実に取り付ける

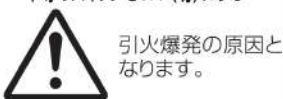


⚠ 警告

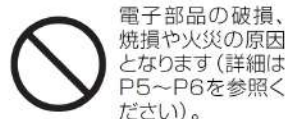
■バッテリーの交換は正しい順序で行う



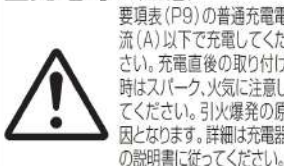
■交換・点検は車両のキーを抜き、または「パワー」スイッチをOFFモードにしたりト等のスイッチをOFF（切）にする



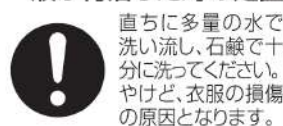
■ケーブルの取り付けは⊕と⊖を逆にしない



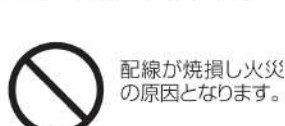
■充電時の注意



■皮膚・衣服にバッテリー液が付着した時の処置

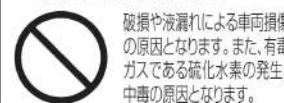


■電気機器の直接接続禁止

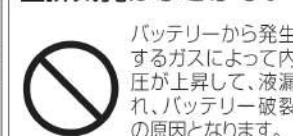


⚠ 警告

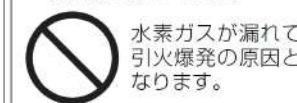
■異臭、液漏れ、変形した状態で使用しない



■排気孔はふさがらない

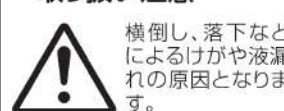


■バッテリーのラベルは絶対にはがさない

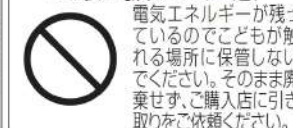


⚠ 注意

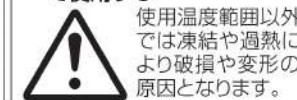
■バッテリーは重量物取り扱い注意



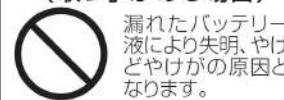
■使用済みバッテリーの取り扱いに注意



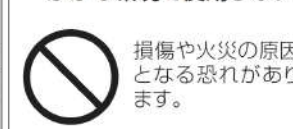
■使用温度範囲-15℃～35℃（短時間使用は-30℃～50℃）で使用する



■取っ手を持って振り回したり投げたりしない（取っ手がある場合）



■バッテリーを水や海水がかかる環境で使用しない



2.ご使用の前に

(1)バッテリーの用途

トヨタ系ハイブリッド乗用車専用補機用バッテリーです。上記用途以外で 사용하지 しないでください。取り扱いを誤ると液漏れ、焼損、引火爆発、有毒ガスである硫化水素の発生、中毒の原因となります。バッテリーは、車の年式、仕様により適合しない車種がありますので、現車及び当社ホームページの適合検索などでご確認の上、お選びください。

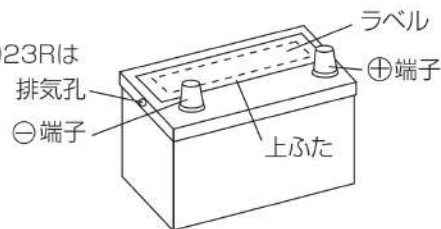
(2)保管について

- ・高温、高湿、雨露、直射日光を受けることがない、また有害なガス、液滴、粉塵発生、浸水、水没の恐れのない風通しのよい場所に保管し、横倒しの状態や落下しやすい場所では保管しないでください。
- ・こどもや取り扱い方法、危険を十分に理解しないものがふれることのない場所に保管してください。
- ・火気を近づけたり、ショートさせないでください。
- ・保管中にバッテリーは使用しなくても自然に放電し使用できなくなることがあります。ご購入後は速やかに使用を開始してください。

(3)各部の名称

S42B20Lの例

(S42B20R、S55B24RとS55D23Rは
⊕端子と⊖端子の配置が
左右逆)



※イラストは一例です。

機種により端子の位置、温度センサーの有無、位置、形状、排気孔の位置が異なります。

3.バッテリーの交換方法

- バッテリーの交換は、車両等の取扱説明書に従って自己責任のもとで行ってください。
- バッテリーの交換時にラジオ、時計、カーナビなどの電装品及びコンピューターのメモリのバックアップが必要かどうかは車両等の取扱説明書で事前に確認してください。

(1)古いバッテリーの取り外し方

- ①“パワー”スイッチ(IGスイッチ)をOFFモードにしてハイブリッドシステムを停止してください。

※ライト類のスイッチはOFF(切)にしてください。

- ②ガス抜き用L形パイプ・ホースおよび温度センサーコネクターを外してください。

※取り外しと接続(P6)を参照してください。

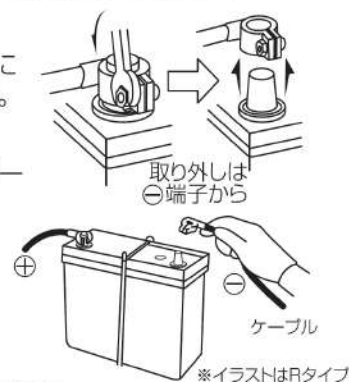
- ③⊖側ケーブルターミナルを外す。

- ④⊕側ケーブルターミナルを外す。

- ⑤バッテリー取り付け金具を外す。

※ケーブルターミナルが汚れている場合はワイヤーブラシ、サンドペーパー等で清掃することをおすすめいたします。

- ⑥バッテリーを両手でしっかり持って取り外す。



(2)新しいバッテリーの取り付け方

- ①取り付け前に、車両にあったバッテリーであることを確認する。

- ②バッテリーを取り付け台に置き、取り付け金具で確実に固定する。

※取り付けの際に⊕⊖の位置を確認してください。

※取り付け金具を締めすぎるとバッテリーがこわれたり、端子が変形することがあります。

※バッテリーは傾けず、水平に取り付けてください。

※バッテリーに保護カバーがついている場合は元通りに取り付けてください。

- ③ガス抜き用L形パイプ・ホースおよび温度センサーコネクターを接続してください。

※取り外しと接続(P6)を参照してください。



- ④先にバッテリーの⊕端子に⊕ケーブルターミナルを、

次に⊖端子に⊖ケーブルターミナルを取り付ける。

※端子カバーがついている車両は端子カバーを元通りに取り付ける。

- ⑤ハイブリッドシステム起動前にケーブルターミナルや取り付け金具のゆるみがないか確認する。

※工具等をエンジンルーム内等に置き忘れないようにしてください。

●温度センサーの配線の取り外しと接続

- ①バッテリーの温度センサーコネクターから車両側の配線を取り外してください。

- ②バッテリーを交換、取り付け台に固定後、車両側の配線を温度センサーコネクターに接続してください。

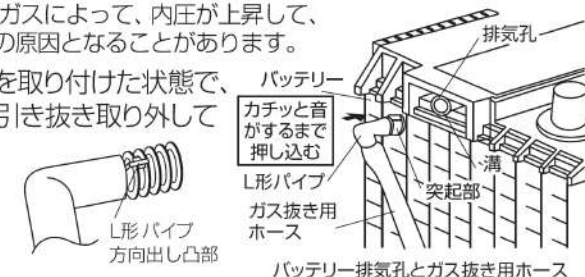
※温度センサー付きのバッテリーにおいて、一部の車両ではバッテリーの温度センサーに車両側の配線を接続する必要がないものもあります。(要項表P9参照)

●ガス抜き用L形パイプ及びホースの取り外しと接続

※排気孔をホース以外のものでもふさいだり、L形パイプをねじったり、曲げたりなどガス排気のさまたげにならないようにしてください。

バッテリーから発生するガスによって、内圧が上昇して、液漏れ、バッテリー破裂の原因となることがあります。

- ①L形パイプにホースを取り付けた状態で、L形パイプを手前に引き抜き取り外してください。



- ②新品バッテリーに接続する時は、カチッと音がするまで強く押し込んでください。

※L形パイプの挿入部先端には方向出し用の凸部を設けています。方向出し用の凸部を真上から右に45°の位置に向けて挿入してください。

4. バッテリーの保守・点検方法

● 液量点検・補水は不要

このバッテリーは制御弁式(シールタイプ)のため、液量点検・補水ができない構造になっています。ラベル、上ふた及び制御弁を外さないでください。バッテリーの性能や寿命を著しく低下させる原因となります。

(1) 日常の点検項目

長くご愛用いただくために次のことに注意してください。

① バッテリーの清掃

水で濡らした布で清掃してください。

※ベンジン、シンナー、ガソリンなどの有機溶剤、洗剤、化学ぞうきんを使用しないでください。電そう、ふたの破損や液漏れの原因となることがあります。

② 取り付け金具・ケーブルターミナルの取り付け点検

バッテリー取り付け金具、ケーブルターミナルにゆるみがないか確認してください。ゆるんでいる場合は、ナットを締め、確実に固定してください。

③ 排気孔をガス抜きホース以外のものでふさいだりガス抜きホースを折ったりしないでください。

内部で生じたガスの排出ができなくなり、液漏れ、バッテリー破裂の原因となることがあります。

④ ガス抜きホースは取り付けられた状態にしてください。

ガス抜きホースが取り付けられていない場合、内圧上昇により生じたガスが車室内に排出され周囲を腐食させる原因となります。また、有毒ガスである硫化水素発生時、中毒の原因となります。

(2) バッテリーの充電

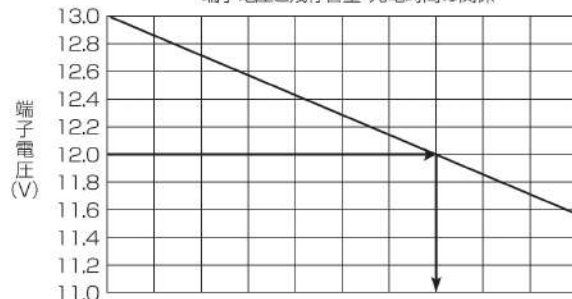
☆ 充電の目安

◆ バッテリーの充電状態を知るために、電圧計をお持ちの場合は以下の方法で充電状態を確認し、充電の目安としてください。

(尚、シールタイプのため比重点検はできません)

端子電圧12.5V以下の場合には充電が必要です

表1 端子電圧測定による残存容量算定の方法
端子電圧と残存容量・充電時間の関係



残存容量20時間率容量 100 50 0 (%)

充電時間の目安 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 (時間)

(例) 端子電圧が12.0Vの場合、残存容量は約30%、また充電時間は約7時間となります。

☆ 充電の仕方

- ◆ 充電は、自動車用密閉型バッテリー対応充電器を使用するか、指定の充電条件(充電電流、充電時間)を守ってください。
- ◆ 充電器の使用は、充電器の取扱説明書にしたがってください。
- ◆ 充電は、車両より取り外し火気のない風通しの良い所で行ってください。(充電中は、引火爆発性のある水素ガスが発生します)
- ◆ 急速充電は絶対にしないでください。
- ◆ 充電の充電電流(A)はP9「6.要項表」をご参照ください。充電時間はP7 表1より算定した充電時間としてください。
- ◆ 10時間以上充電しないでください。10時間を越えても充電が完了しない場合には、充電を止めてください。所定の充電時間を越えて充電するとバッテリーを漏液、発熱、爆発させる原因となることがあります。

5. バッテリーがあがったときには

システムが起動しないなどの場合には、車両の取扱説明書に従って対処ください。また、ご不明な点はご購入店にご相談ください。

(1) 充電器による充電の仕方

充電器でバッテリーを充電する場合は、充電器添付の取扱説明書に従い正しい手順で行ってください。充電電流の設定はP9「6.要項表」の普通充電電流とし、充電時は車両よりバッテリーを取り外してください(火気厳禁)。

通電中にクリップを外すなどスパークの出る行為は厳禁です(爆発注意)。

また充電に際して、ラベル、上ふた及び制御弁は外さないでください(性能低下の原因となります)。

※ 充電時間の目安は、普通充電電流で放電程度により5~10時間です。

充電完了は放電程度により異なります。

※ 急速充電は絶対にしないでください。



(2) ブースターケーブルによるシステム起動

◆ 車両取扱説明書に従い正しい手順で行ってください。

(ブーストする場合にエンジンルーム内の専用端子を使用する場合があります。)

車両の取扱説明書に従って、ブースターケーブルを正しくご使用ください。)

6.要項表

バッテリー型式	電圧 (V)	5時間率 容量 (Ah)	20時間率 容量 (Ah)	充電 電流 (A) ^{*1}	充電 時間 (h)	取っ手	温度 センサー
EHJ-S42B20R(L)	12	28	35	4.0 以下	10 以下	あり	なし
EHJ-S55B24R(L)		36	49	5.0 以下			
EHJ-S55D23L ^{*2}		43	51			なし	あり
EHJ-S55D23R						あり	なし
EHJ-S65D26L ^{*2}		48	57			なし	あり
EHJ-S75D31L		56	68				

※1 充電電流(A)は普通充電電流の充電電流値を示しています(急速充電は絶対にしないでください)。

※2 以下の車両にはバッテリー接続用の温度センサーコネクタが無い仕様もあります。
その場合は、バッテリー本体の温度センサーコネクタには、何も接続しないでください。

エスティマ ハイブリッド(AHR10W)

クラウン マジェスタ ハイブリッド(GWS214、AWS215)

レクサスGS300h(AWL10)

レクサスGS450h(GWS191、GWL10)

「故障かな?」と思ったら…。(よくあるご質問、お問合せ)

①システム起動しない場合。

→放電している可能性がありますので充電をお願いします。

P8「5-(1)充電器による充電の仕方」の項を参考にしてください。

注:放電はバッテリーの不具合、故障ではありませんが充電をしてもシステム起動しない場合はご購入店までご相談ください(補償書を提示してください)。

②車両を長期間使用しない間にバッテリーがあがってしまった。

→バッテリーを車両に搭載すると時計、コンピューターのメモリーなどの消費電力(暗電流)が常時流れ、車両によっては1ヶ月ぐらいでバッテリーあがりが発生します。

充電していただき、点検で正常であれば補償交換対象とはなりません。

③システム起動はするがバッテリーテスターで「要注意」と表示される。

→一時的に放電気味状態の場合、バッテリーテスターの判定で「要注意」などになる場合があります。

充電していただき、点検で正常であれば補償交換対象となりません。

<ご相談窓口>

株式会社 **GSユアサ**

(お問い合わせ窓口) **0120-431-211** (フリーダイヤル)

受付:月～金(年末年始、休日など除く) 9:00～12:00、13:00～17:00

※バッテリーの故障や寿命の判断など、ご相談内容によっては
ご購入店(通信販売、ネット販売等含む)とご相談いただく場合があります。

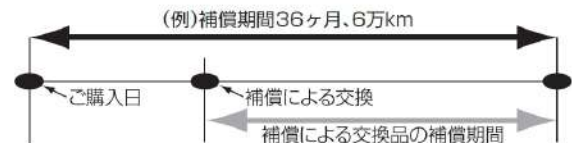
補償条件

本製品は厳密な品質管理と検査の上、お届けしておりますが、万一ご購入後、補償期間内に正常なご使用状態で不具合が生じた場合は、ご購入店（通信販売、ネット販売等含む）にご相談ください。ご購入店で点検・調査の上、下記条件により補償させていただきます。ただし、ご購入店による点検・調査でも補償適用の可否が不明な場合、弊社または弊社代理店等にて点検・調査をさせていただくことがあります。

1.補償内容

下記の「補償の対象」「補償期間」に従って、無償で「新品」と交換させていただきます。また、バッテリー交換以外の責はご容赦願います。

尚、補償適用により新品交換した場合、補償期間は当初ご購入いただいた時点からの補償期間が適用されます。



2.補償の対象（国内使用品に限る）

製造上あるいは材料上の不具合により使用不能となったもの（充電で回復する単なる放電状態は適用外ですのでご了承ください）。

3.補償期間

補償期間はご購入日より起算した使用期間、または累計走行距離のいずれか早く到達した時とします（ご購入いただいた製品の補償期間については裏面をご確認ください）。

4.適用除外

補償期間内であっても下記の場合、補償は適用されません。

- ①補償書がない場合、または、必要事項が記入されていない場合
- ②単なるバッテリーあがりなど、充電により回復するもの（但し充電により回復した場合の充電代は有料となる場合があります）
- ③以下の用途に使われた場合
 - a) トヨタ系ハイブリッド乗用車補機用以外の目的（機器の電源など）で使用された場合
 - b) アイドリングストップ車に使用された場合
 - c) 教習車、緊急車両などの特殊用途自動車や、農業機械、建設機械に使用された場合
 - d) 本バッテリーが適合しない車両に使用された場合
- ④天災、地災、火災、海難、動乱などによるバッテリーの破損ならびに故障
- ⑤使用上の酷使、手入れ不十分、過失または事故によって生じた故障と認められるもの
たとえば、(ア)電そう、あるいはふたの変形、破損したもの
(イ)電装品などの故障、欠陥により生じた事故
(ウ)ご購入後保管期間中、放電したまま放置した場合
(エ)逆接続充電されたもの
(オ)交通事故による破損・故障・機能低下の場合
(カ)バッテリーを修理・改造した場合（ラベル、上ふた及び制御弁を外した場合）
(キ)過負荷となるアクセサリを使用した場合
(ク)車両搭載のままご使用にならずコンピューターメモリー負荷（暗電流）により放電した場合
(ケ)ご購入後、保管中の自己放電によるもの
- ⑥自動車自体の原因による場合
たとえば、レギュレーターの設定電圧が基準値を越えて過充電となった場合
- ⑦補償書記載以外の車両に載せ替えた場合
- ⑧バッテリーの搭載位置、車両懸架緩衝装置、充電装置などに改造が加えられた車両で使用された場合
- ⑨不具合の車両がチェックできない場合
- ⑩所有者が変更となった場合

注意:ご購入店（通信販売、ネット販売等含む）以外での補償はできませんのでご注意ください。